

経歴 | PROFILE

■ 名前 内舘 茂(うちだてしげる)

■ 生年月日 昭和41年9月28日(満52歳) B型

■ 家族 妻・一男二女の5人家族

■ 学歴 昭和48年3月 盛岡幼稚園 卒園
昭和54年3月 盛岡市立杜陵小学校 卒業
昭和57年3月 盛岡市立下橋中学校 卒業
昭和60年3月 岩手県立盛岡第一高等学校 卒業
平成2年3月 学習院大学 経済学部経営学科 卒業

■ 職歴 平成2年4月 TOTO株式会社 入社
平成5年8月 丸乃タイル株式会社 入社
平成15年6月 同社代表取締役社長 就任
平成18年6月 株式会社理創生活 設立 同社代表取締役 就任

■ 資格 二級建築士、宅地建物取引士

■ その他 平成28年 公民連携プロフェッショナルスクール受講
平成29年 リノベーションスクール受講
盛岡市立下橋中学校同窓会副会長
盛岡市立杜陵小学校PTA会長
岩手県タイルレンガ工業会会長
菜園交番管内連絡協議会理事
学習院大学岩手桜友会世話役
盛岡卸センター経営研究会理事
元岩手県高等学校PTA連合会会長・盛岡一高PTA会長
元盛岡市立下橋中学校PTA会長
元公益社団法人盛岡法人会副会長
元公益社団法人岩手法人会連合会青年部会長
元盛岡商工会議所青年部理事
盛岡南ロータリークラブ会員
白亜建設会会員
2002年度 社団法人盛岡青年会議所第50代理事長
2003年度 社団法人日本青年会議所岩手ブロック協議会会長



0歳、母に抱かれて



杜陵小学校入学式



下橋中学の応援団。体育祭にて



令和元年5月
もりおか歴史文化館前にて

(令和元年6月現在)

新しい風で、
いまこそチェンジ！
30万の笑顔が咲く盛岡へ。



CHANGE 
チェンジ! モリオカ

内舘しげる 事務所

内舘しげる

前進@モリオカ

CHANGE

チェンジ! モリオカ

内館しげる 盛岡の未来へ!

5つの 約束。

CHANGE

1

「賑わいのある」「人口密度の高い」 中心市街地を復活します

店舗・商店街上階の住居化優遇や、保育・介護・教育施設などを充実させ、隣近所がにぎわう、もっとワクワクする「まちなか」にします。

中心市街地の歩行者通行量が、約1/3に減少。

[平成5年] 11,149人 → [平成30年] 3,532人 ※野村證券前(日曜日)

2

「自動運転ミニバス特区」を実現します

高齢の方・運転できない方でも安心して楽しめる「自動運転ミニバス」を、全国に先駆け3年後を目標に運行開始。誰にも使いやすい日常の足として、人と環境にやさしい交通網を整備します。特に郊外の皆さんの移動・買い物の不便や心配を解消します。

2019年4月より、マイナス27度の雪道でも走れる自動運転バスが
フィンランドで乗客を乗せて実地走行され、2020年には運行開始されます。

3

住宅地・農業地域のみなさんの生活と 産業の支援を強化します

住宅地・農業地域と中心部では、歴史も環境も違います。町内会・自治会支援をはじめ、地域事情に十分配慮した事務・事業運営を行います。農業については、実態に合わせたきめ細かい支援をし、量販店での仕入れ推奨、担い手不足の応援など地産地消を推進し地域内自給率を高めます。

東京へ転出した人の割合が盛岡市は全国ワースト1!!

盛岡市人口の0.35%が東京圏に流出しました。※富山市は0.09% (2017年度)

4

盛岡の自立・豊かさのために、 地元企業・地元商店を徹底的に支援します

地元の企業・商店は、まちの元気でもあります。地元事業者を最優先にした発注など徹底的に支援していくとともに、起業支援・就業支援・跡継ぎの育成支援などをきめ細かく行っていきます。

盛岡市の商業売上額は、10年間で25%のダウン。

[平成16年度] 1.36兆円 → [平成26年度] 1.02兆円

5

女性や高齢者、子供たち、障がいのある方 誰にも優しいまちを創ります

年齢、性別、学歴、人種、心や身体など、互いの違いを認め尊重し、誰もがイキイキと自分らしく、安心して暮らすことのできる環境を創り、幸せを実感できる盛岡を創っていきます。

盛岡市はさらなる人口減少と少子高齢化が予想される。

【盛岡市の人口】 …………… [2019年] 29.3万人 → [2045年] 24.3万人
【20歳から64歳の人口】 …… [2019年] 16.1万人 → [2045年] 11.5万人
【65歳以上の人口】 …………… [2019年] 7.8万人 → [2045年] 9.4万人

30万人の個性が咲く、世界にひとつのもりおかへ。

起業や就業の支援が充実し、
多様な働き方が選べるまち。→①②

町内会・自治会が機能し、多くの
市民の参画によって発展するまち。→④⑧

人を創り、産業を育て、全国、
世界から人を呼び込むまち。→②⑤⑦

公共交通網が張り巡らされ、
買い物やお出かけに便利なまち。→③④

地元の店で買物をしたり、史跡巡りや
川沿の散策を楽しむ人々で賑わうまち。→②③⑥

CHANGE チェンジ! モリオカ

誰もが幸せを感じ、暮らし続けたいまち。

未来の盛岡のために。

さあ、チェンジするのは、いま!

若者が思う存分、夢を持ち、学び、
自立し、未来に希望が持てるまち。→②⑤

美しい緑と川が共存する街並み。
自動運転の電気バス、自転車、
歩く人が行き交う、安全でエコなまち。→③④⑥

一人ひとりの「自分らしさ」を尊重し、
お互いを認め合うまち。→①

子育てと仕事の両立がしやすく、
安心して暮らせるまち。→⑤

だれもが、質の高い教育を
受けることができるまち。→⑤



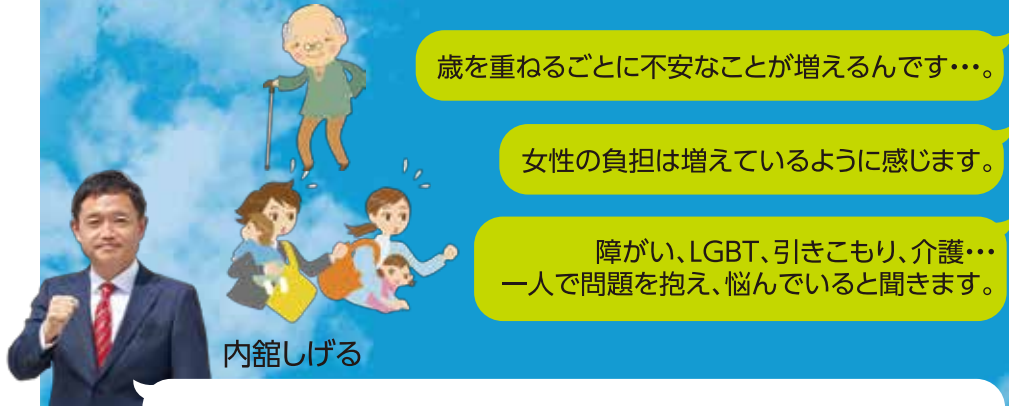
City Planning

30年後に向けた盛岡の都市計画を、市民の皆さんと策定し実行します。

市長直轄プロジェクトとして盛岡の未来の都市計画を「産学官+市民」で策定。
2年後には市民に公表し、市民全体で議論を重ねながら、
4年後には都市計画の完成を目指します。



一人ひとりの違いを認め合い、個性を活かせるまちへ。



歳を重ねるごとに不安なことが増えるんです…。

女性の負担は増えているように感じます。

障がい、LGBT、引きこもり、介護…一人で問題を抱え、悩んでいると聞きます。

内舘しげる

性別や年齢、人種、学歴、心や身体など、一人ひとりの違いを認め合い、個性を活かし、大切に、生きづらさを感じる人のいないまちを目指します。一人ひとりが自由に物事を考え、アクティブに行動できる環境が、あたらしい盛岡を作り上げていくためには不可欠だからです。

CHANGE



☆「高齢化社会」から「健康長寿社会」へチェンジする施策

- 町内会活動や交流会、サークル活動など、皆さんと話し合いながら運営を支援。
- 予防・介助・介護・医療と、高齢者や障がい者とその家族への切れ目のないケア体制。
- 空き家・空き教室・空き店舗・市営住宅コミュニティスペースなどの活用。

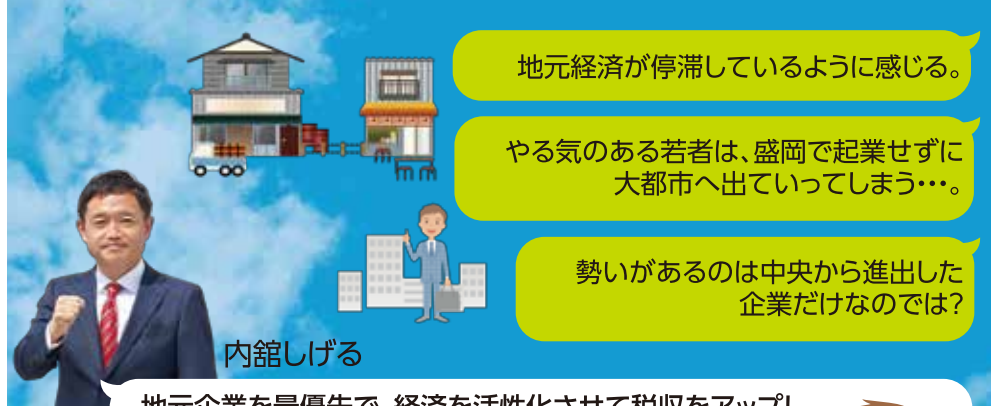
☆ボランティアの活躍の場の幅を広げます

- ボランティア育成を促進、保育・介護・買い物代行・送迎・無償塾やこども食堂などでの活動。
- 元気なリタイヤ世代、主婦、学生などがもっと活躍できる場の創出。
- ボランティアポイントを創設し、交通系ICカードなどとの連携。

☆「自分らしさ」を互いに認め合うまちを目指します

- 「LGBT」をはじめ「多様性」等をテーマとする盛岡らしい映画祭の開催。
- 障がいのある方の正規雇用率向上、イキイキと働ける場所づくり。
- 地域の子育て拠点を老いも若きも集う地域のコミュニティセンターへ。
- 引きこもりの方やそのご家族に向けた相談・訓練・社会参加機会までのケア体制。

地元企業・商店のチカラを高め自立した稼げるまちへ。



地元経済が停滞しているように感じる。

やる気のある若者は、盛岡で起業せずに大都市へ出ていってしまう…。

勢いがあるのは中央から進出した企業だけなのでは？

内舘しげる

地元企業を最優先で、経済を活性化させて税収をアップし、福祉など市民の皆さんに還元します。そして、自立した「盛岡」を実現します。とくに起業意欲を高める環境づくりに取り組み、若者や女性のアイデアや行動力を支援する「起業家のまち」にチェンジします。



CHANGE

☆地元企業への支援を徹底!

- 地元企業への最優先発注を条例化するなど、様々な支援を通して地元の企業の売上・利益アップを目指します。
※盛岡の上場企業+3社増、地元新規起業1,000社を目指します。

☆IT企業本社やサテライトオフィスを誘致し、多様な働き方を推進

- 雇用の場を創出し人材を呼び込みます。

☆地域の価値をアップ

- 一番の不動産オーナーである盛岡市が遊休不動産を有効活用し、地域の価値を向上させ税収を増やして市民の利益につなげていく「稼ぐまちづくり」を実現。

☆個人の所得・収入をアップ

- 雇用の場づくりとして、公的機関への人材登用をはじめ、市民世帯の収入アップを図る施策を展開します。



100年に一度のチャンスを活かし、 活気と潤いのあるまちへ。



内舘しげる

岩手医大跡地の活用を100年に一度のチャンスととらえ、バスセンター跡地、ななっく跡地、そして、中央通り、内丸のあり方も含め、市民の皆さんとともに新しい盛岡のランドデザインを描きます。歩いて楽しめるまち。地元商店・地元の会社が生き続けられるまち。みんながストレスなく市内を移動し、交流や買い物を楽しめるまち。そんなまちへ、チェンジします！



ショッピングセンターがどんどん郊外に…。歩いてお買い物に行けないの。



地元のお店、元気が無いみたい。昔の活気ある商店街が良かったなあ。

バスセンターや医大などの大規模跡地、どうなるの？

CHANGE

☆100年に一度のチャンスを活かした中心市街地の活性化

- 岩手医大、県立短大、バスセンターなど大規模な跡地の活用利用促進。
※岩手医大跡地は容積率を大幅に拡大し、盛岡のシンボルとして高度利用します。
- リノベーションへの補助など空き店舗の活用を推進。
- 空き地・跡地を活用したマルシェ等の常設化。

☆人口密度の高い中心市街地づくり

- 「1階店舗化、上階の住居化」への優遇措置。

☆新世代交通の検討・公共交通の充実

- 自動運転実証実験特区の実現。
- おでかけパスの拡充。
- 移動が楽な地域ミニバス、福祉タクシーなど、人に優しい公共交通を整備。
- 自転車と歩行者が共存できる安全な歩道の整備。
※LRTや新交通まちづくりについて、市民全体の議論にします。

☆交通系電子マネーカードなど、すでに機能している 地域通貨システムの活用促進と進化



郊外と中心市街地が、 「自動運転バス」で結ばれるまち。



内舘しげる

高齢化に伴い運転手さんの数が不足しています。その為、市民の足として人気の盛岡都心循環バス「でんでんむし」でさえ、30%もの便の削減に直面しています。とくに郊外から中心市街地へのアクセスの利便性向上は喫緊の課題です。これらの課題を解決するのが「自動運転ミニバス」の導入です。全国に先駆けて自動運転特区を取り、4年後には郊外と中心部とを自動運転ミニバスで結びます。



高齢で運転できなくなったらお出かけも大変です。



郊外から中心市街地へ、気軽にアクセスできると良いなあ。

ドライバー不足で「でんでんむし」も削減されたでしょ…。

現在の盛岡市の20才～64才の人口16.1万人が2045年には11.5万人に！65才以上の人口7.8万人が、9.4万人に！自動運転バスの導入が絶対に必要です。



CHANGE

☆全国に先駆けて自動運転実証特区へ！

- 2019年4月より、マイナス27℃の雪道でも走れる自動運転バスが、フィンランドで実地走行開始。盛岡でも全国に先駆けて自動運転実証特区認証を受け、4年後には郊外～住宅地～中心部を自動運転ミニバスで結び、利便性を飛躍的に向上させます。

☆郊外(農業地区)の生活と産業の支援を強化します

- 玉山地区の産業活性化支援策として「企業誘致」や「石川啄木をテーマとする観光コンテンツの開発と誘客」を行います。
- JAさんと協力し、広域での農業生産額を高めます。量販店には地域内生産物の仕入れの推奨、農家担い手不足への支援等、地産地消をすすめ、地域内自給率を高めます。


☆町内会、自治会へのきめ細やかな支援

- 集会所整備への支援。建設費、備品整備の補助率を上げる。(4割→5割へ)座卓からイスへ。空き地の活用促進。

玉山・都南地区の今後の見通しや課題について、地区の皆さんと話し合い約束事を守り解決策を考えます。



日本一の教育と、子育てができるまちへ。



もっと楽しく子育てができるまちになればいいな。

進学希望の子どもがいるのですが、経済的な負担が大きいです。

子どもたちの未来のために、大人たちにできることはないでしょうか？

内舘しげる

もっと力強く、若者、女性、子育てを応援します！
安心して出産や子育てをしていただくための支援を充実させます。
地域ぐるみで子どもを見守り、豊かな心身を育みながら、
質の高い手厚い教育をしていく仕組みを作ります。
日本一の教育ができる「子育てのまち」を実現していきます。

CHANGE

☆教育環境の充実

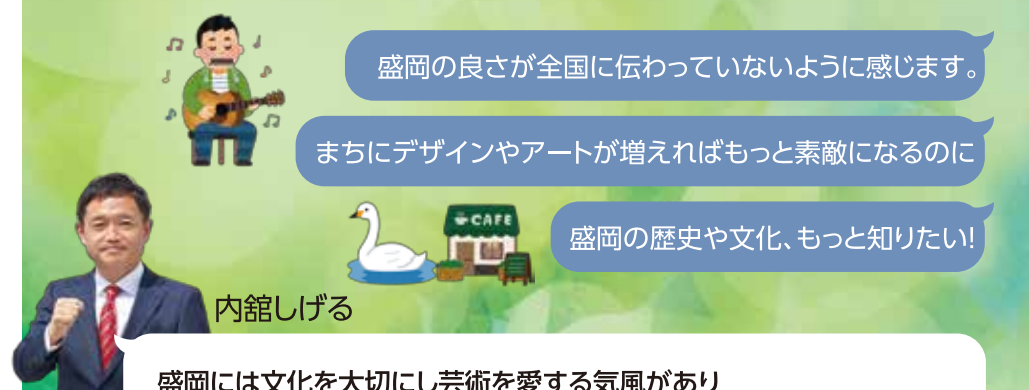
- 学生の交通費の学割として50%を補助。
- 盛岡型返済不要奨学金制度の開設。
- 小中学の給食は完全給食に加え、地産地消・豊かな食育の観点から、JA・農家の皆さんの協力のもと助成していく。
- 小中高生の無償塾を官学連携で開講。退職教職員や大学生を講師とし、ボランティアポイントや単位を付与。教室は昼間は託児所として使うなど老若男女のコミュニティー化。

☆出産・子育て環境の充実と支援

- 宿泊型産後ケア施設の開設
- NPOやボランティアさんと協力して「盛岡子ども食堂」を運営。
- 3人目の出産に際し空き家を活用した「現物子ども手当」を用意。
- ばらばらになっている子育て関連窓口と児童相談所、教育委員会、女性センターや一時保護施設を一ヶ所にまとめ、いじめ・虐待・DV・引きこもりの相談にも迅速に対応します。



「盛岡愛」をエンジンに、魅力が凝縮した絵になる街へ。



盛岡の良さが全国に伝わっていないように感じます。

まちにデザインやアートが増えればもっと素敵になるのに

盛岡の歴史や文化、もっと知りたい!

内舘しげる

盛岡には文化を大切にし芸術を愛する気風があります。豊かな自然や歴史的な建造物等の観光資源も多く、学術研究や子育て、教育や文化活動にも適した環境です。この「盛岡ならではの可能性」をまちづくりに活かし固有の資源を活用し魅力が凝縮したまちを目指します。

「セグウェイで巡る盛岡観光」や「外国人観光客の誘客」など新たな取り組みも行いたいと考えています!

CHANGE

☆観光資源の整備・開発及び「中津川リバーサイド構想」

- 盛岡城、八幡町花街の賑わい、仙北町の船橋や近江の廻船問屋、旧町名とそこに暮らす人々や、ゆかりの偉人などをバーチャルで再現。スマホやVR機器で景色に重ねて見られるようにする。盛岡のまちの歴史や文化を巡る観光ルートの開発。
- 盛岡各地の人々が生み出してきた物や事。それにまつわる物語を表現、デザインし、屋根のないアートギャラリーのような川沿いへ。
- 「本物の屋台街・桜山」「つなぎ温泉」「すぐそこにある自然・岩山」「啄木の故郷・玉山」「まちのへそ・盛岡城、岩手公園」「古い町並み・鉈屋町」「魅力ある商店街・材木町・大通・肴町・八幡町・青山町」などなど、魅力ある観光地としてみがき上げていきます。
- 川とともに暮らすまちとしての景観、在来種保護などの環境整備。

☆盛岡への愛をチカラに、文化芸術・スポーツを振興&ブランドを発信

- いしがきロックフェスティバル、さんざ踊り、文士劇などへの補助や、盛岡で活動するクリエイターの発表の場の提供や支援などきめ細かな助成を行います。

元気で風格ある誇り高き県都へ。



内館しげる

盛岡は北東北の中心地として、
どんな都市を目指すの？

沿岸の復興など、課題の多い地域のために、
盛岡にできることはないの？

「盛岡ってどこ?」「何があるの?」と聞かれます。

「盛岡・矢巾・滝沢」の連携を強化。
盛岡広域圏の中心として、
世界に伸びゆく北東北の拠点都市を目指します。
各自治体の強みや特徴を活かした連携で沿岸の復興、
県北の振興をはじめ周辺市町村の課題解決や活性化にも貢献。
世界に誇れる都市圏を創り上げます。

CHANGE

☆盛岡西バイパスを南北に延伸する盛岡縦貫道の早期開設で

○盛岡、矢巾、滝沢間の人と物の流れを円滑化。

☆農家・酪農家が安心して良いものを創ることに専念できる環境を整備

○食と農のブランド化を推進し首都圏や世界に発信。

☆貴重な税金の無駄遣いを防ぐ、広域圏での公共施設の共用化を推進

☆持続可能な町、都市の形成

○便利な公共交通網が整備され、人々の交流する場や地元ならではの食や文化があり、緑あふれるエコな町には、人や産業が自然と集まります。
そんな「持続可能な町」として、世界から人を呼び込む都市にします。



公民連携、全員参加型の市政へ。



そもそも、市長がいるのはなんのため？

市職員の皆さんとの対話の機会を増やしたい。

民間企業と、地方公共団体の経営ってどう違うの？



内館しげる

盛岡市の主役は30万市民。市長を先頭に市職員は、
30万人一人ひとりの幸せのために存在しています。
民間の気持ちがわかって、スピード感、
サービス精神を持って職務にあたるのが大切。
これからの首長には組織を動かすリーダー経験も必要です。
市民が主役の「チーム盛岡」を経営していきたいと思えます。

CHANGE

☆民間主導の公民連携で都市経営課題の解決を目指します

○内館しげるの企業経営の経験と、ひとりの市民としての感覚と志を市政に注入し、
全国でもオンリーワンの、皆さんが住みたいと思えるまちになるものと確信しています。

☆市長直管の「部局横断型の戦略室」を新設

- 市民サービスの向上。
- 盛岡ブランド等の体外的な営業活動強化。
- 公民連携のまちづくり・長期ビジョンの策定。
- 市民の声のデータベース化とオープン化。

※だれでも参加できる市民とのランチ会を月1回開催するなど、
声を聴き市政に反映させる機会を創出します。

たとえば「除雪」対策…。
タクシーやゴミ収集車と連携し、
路面状況を情報共有したり、除雪路線の見直し、
直営除雪班の組織化、貸し出し用簡易除雪機を
1000台に増加!など、推進していきます

☆対話

○従来のもちづくり懇談会に加え、商工業者、若者、女性 等の
各懇談会を開催。市長が住民と向き合い直接対話をします。

☆検証

○ごみ処理の広域化、公立保育園の「全園民営化」、市立図書館の整備など、
本来の理念・目的のもとゼロベースで検証します!



30万人の
個性が咲く、
世界に
ひとつの
もりおかへ。



先輩方が創ってきてくださった、この盛岡が私には大好きです。そして生れ育てくれた盛岡人の恩返しの気持ちを持ち続けてきました。私にとって再挑戦の原点であります。

中心市街地の通行量調査を見て驚きました。

・大通交差点（野村證券前）

平成15年 11,149人 → 平成30年 3,532人 約1/3に減少
東京人の流出人口も無視できません。

・東京へ流出した人口割合 0.35% 全国ワースト1

そして年間商業売上も、この10年で 25%もダウンしてしまいました。

・平成16年 1.36兆円 → 平成26年 1.02兆円

岩手医大跡地・バスセンター跡地、郊外・住宅街・中心部の不バランスな人口分布、公共交通、高度経済成長時のインフラ再整備、子育て・教育雇用の問題等、今盛岡はスピード感をもって解決していかなければならない問題が山積みです。

今までの常識が通用しない**人口減少 超少子高齢化**の時代。このままでは未来を担う子供・孫たちの世代はどうなってしまうでしょう。

厳しい、先の見えない時代だからこそ**夢と若さ**が必要だと思っています。私たちの世代は今一番の働き盛りの世代であり、次世代に盛岡を引き継ぐ責任を負っています。先頭に立ち、一番汗をかきます。

皆さんと力を合わせて、**盛岡に新しい風**を吹かせていきましょう。

内館 茂

(経産省 商業統計, 経済センサス活動調査, 人口問題研究所 将来推計人口)